

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年6月11日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日	備考
1	<p>【1号機使用済燃料プール循環冷却設備「監視操作装置(B)系異常」の警報発生について】</p> <p>1号機使用済燃料プール循環冷却設備に「監視操作装置(B)系異常」の警報が発生した。原因については不明。現在、監視操作装置は(A)系を使用中であり、操作や指示値の監視には影響ない。また、1号機使用済燃料プール循環冷却設備は、使用済燃料プール養生作業にて停止中。今後、点検修理予定。</p>	GⅢ	6月6日	—
2	<p>【4号機燃料取り出しカバー建屋1階におけるシーラント(危険物)の漏えいについて】</p> <p>4号機燃料取り出しカバー建屋内の1階にて、当社社員がコンクリート床面に60cm×60cmのシーラント漏えいを発見。原因としては、シーラント容器の側板と底板の接続部に腐食が発生し、これにより穴が開き漏えいしたものと推定。漏えいしたシーラントの回収及び現場の清掃を実施し、回収したシーラント及び漏えいが発生していないシーラント容器も含め危険物貯蔵所へ運搬し適切に保管した。今後、再発防止対策を検討。なお、富岡消防署より「危険物の漏えい事象」と判断された。</p>	GⅢ	6月5日	—
3	<p>【放射性物質の質量分析計の不具合について】</p> <p>放射性物質の分析作業を実施しようとしたところ、化学分析棟及び5. 6号機ホットラボの質量分析計に異常がみられ、使用できないことを確認。メーカーに照会したところ、基盤異常等の可能性があるとの見解があった。今後、点検修理予定。質量分析計の使用頻度は週1, 2回程度であり、復旧までの分析業務に支障をきたさないため、緊急を要する質量分析が必要となった場合は、社外への分析依頼も検討中。</p>	GⅢ	6月5日	6月15日に再審議され、化学分析棟の質量分析計の不具合について、単独で起票